

2023 年度 第 3 回 JSSR 専門医制度委員会 議事録

2024 年 1 月 20 日(土) 7:00~7:30

Zoom 会議

出席者 (敬称略)

理事長 波呂浩孝

担当理事 中村雅也

委員 竹下克志 渡辺雅彦 明田浩司 海渡貴司 藤田順之

議題) 専門研修施設の更新申請についての審議

今年度は専門研修施設の更新申請が 23 施設あったが、各委員の方で審査した結果、そのうち 2 施設が条件を満たしていなかった。

1) 山形大学医学部付属病院

年間症例数において、2020 年が 101 例、2022 年が 126 例、2023 年が 104 例で提出されているが、抜釘、生検、デブリドマンなどが含まれており、それらを差し引くと、2020 年と 2023 年においては年間症例数が 90 例ほどで、100 例に満たない。ただし、側弯症手術は毎年約 20 例行われており、また、手術症例以外の条件は満たしている。

2) 大浜第一病院(沖縄県)

3 年間で学会発表がない。その他の年間手術症例数などの条件は満たしている。

審議結果)

1) 山形大学医学部付属病院

側弯症手術などの長時間手術が多く含まれており、手術枠の問題で症例数をそれほど増やすことが出来ないことが予想される。山形県では、当院を含めて現在 5 つの専門研修施設があるが、その中でも中心的な役割を担っていることから、地域性を鑑み、今後年間症例数 100 例以上維持することを必須条件として、承認することとなった。

2) 大浜第一病院(沖縄県)

現時点で沖縄県に二つある専門研修施設の一つであり、沖縄におけるカリキュラムとしては極めて重要な基幹病院となる。ただし、学会発表などの学術活動の指導が出来ないことは、専門研修施設としての機能を果たしていないことになるので、2025 年の JSSR での学会発表は必須とし、その旨を病院の専門研修指導医と琉球大学整形外科教授にも通達し、今回は条件付き承認となった。

以上の結果を、NSJ 側とも情報共有することとする。

以上
文責 藤田 順之